

日本の学校心理学：  
教師、スクールカウンセラー、保護者のチームによる  
心理教育的援助サービス

**Toshinori Ishikuma, Ph.D.**  
**Tokyo Seitoku University**

Keynote Speech at ISPA 2018 Tokyo, July 26, 2018

# Welcome to ISPA 2018 Tokyo

## 私の学校歴

- 日本の経験：幼稚園から大学
- アメリカでの経験：アラバマ英語学校から、大学院まで・・・  
From ABC からPh.D.まで

英語の練習は、「大草原の小さな家」と仲間

Mentors: Drs. Alan & Nadeen Kaufman  
賢いアセスメントで子どもたちの強さを発見



# SDSU スーパーバイザー: 環境の中の子ども 生態学的・多文化的アプローチ



Dr. Valerie Cook



Dr. Colette Ingraham



Dr. Carol Robinson-Zanartu

# Supervisor: Dr. Albert Ellis (1913-2007)

エリス博士1897年来日の際のワークショップで通訳

1990年 スーパービジョン

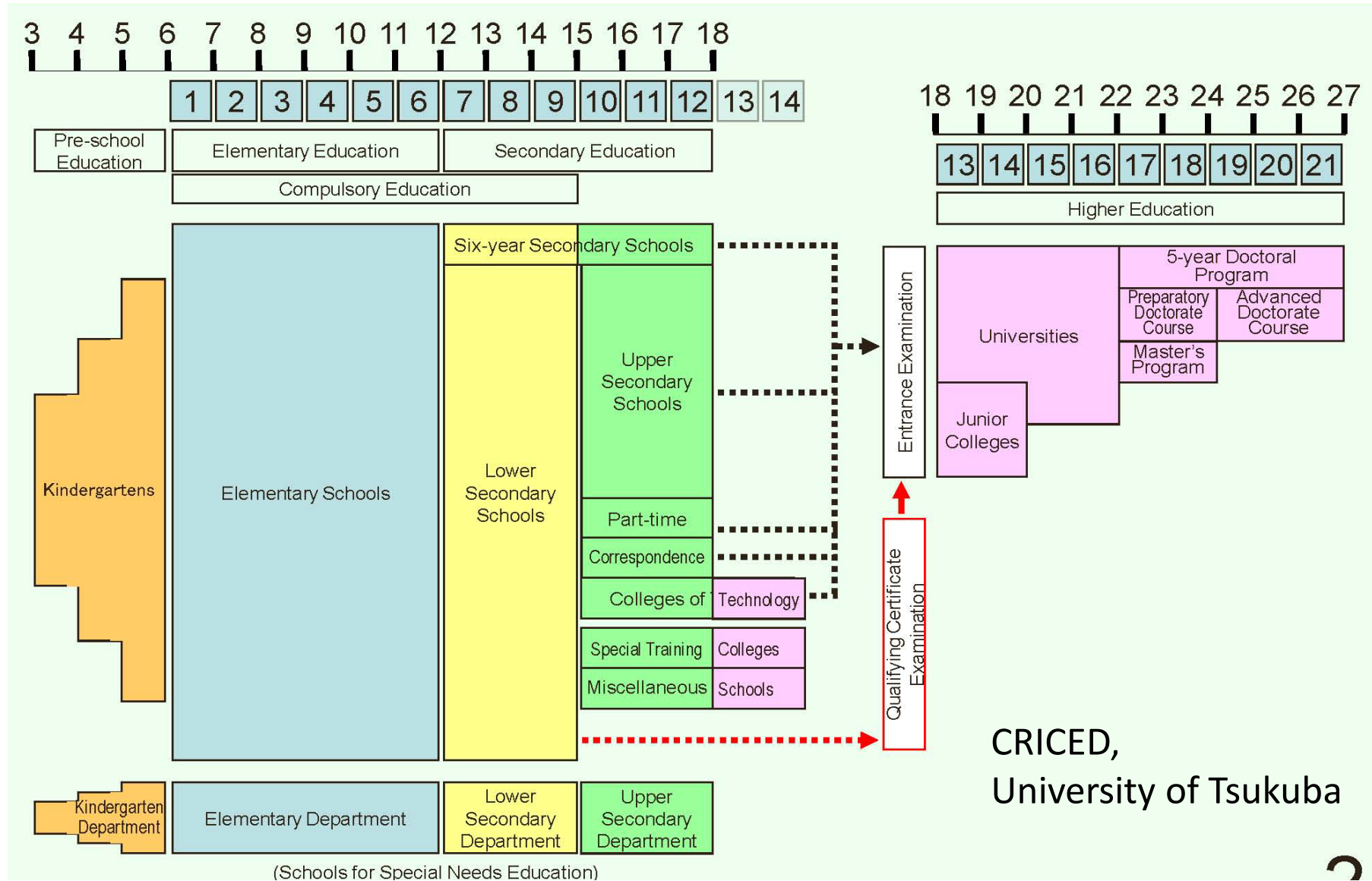
「TOSHIのセッションは、論理療法としてOK。  
でも少しゆっくりだね」

What did “Slow” mean?

# 発表のポイント:

- 日本の学校教育のシステム
- 日本の学校教育の問題
- 学校心理学による援助サービスの基礎的概念
  - 東日本大震災における国際社会からの援助
  - 日本の学校心理学の発展・改善
- 日本の学校心理学の国際貢献

# 日本の学校教育のシステム



# 子どもの直面する問題

- **いじめ**

“A case in which a child feels distress because of psychological or physical attack by someone who has a relation to him or her”  
(MEXT, 2010)

**80,022 小・中・高・特別支援学校 2016年度  
増えている**

- **Non-attendance**

Students who do not attend school for 30 days or longer in a school year for some reasons excluding economical reasons and illness.

**The rate of Non-attendance students:**

**小: 0.5%**

**中: 3.0%**

[学校教育基本調査, 2017]



# 子どもの直面する問題

## 児童虐待

Number of Consultation cases referred to Child Welfare Center: **122,578 and increasing!**

(Ministry of Health, Labor and Welfare, 2016)

## 多様な文化をもつ子ども

外国に縁のある子ども、子どもの貧困

移民の数：OECD加盟国で4位（2015年） ドイツ、

アメリカ、イギリスにつぐ

## 特別支援教育

- **Learning Disabilities (LD), 学習障害**
- **Attention Deficit Hyperactivity Disorder (ADHD) 注意欠如多動症**
- **Autism Spectrum Disorder (ASD) 自閉症スペクトラム障害**

6.5% の小学生・中学生：学習上、行動上の困難  
(通常学級の教師対象の調査 2013年)

# 日本の学校心理学の定義

学校教育と心理学を統合する分野

- ・子どもの学習面、心理・社会面、進路面、健康面における心理教育的援助サービスの理論と実践の体系。
- ・一人ひとりの子どもの成長を促進することをめざす。

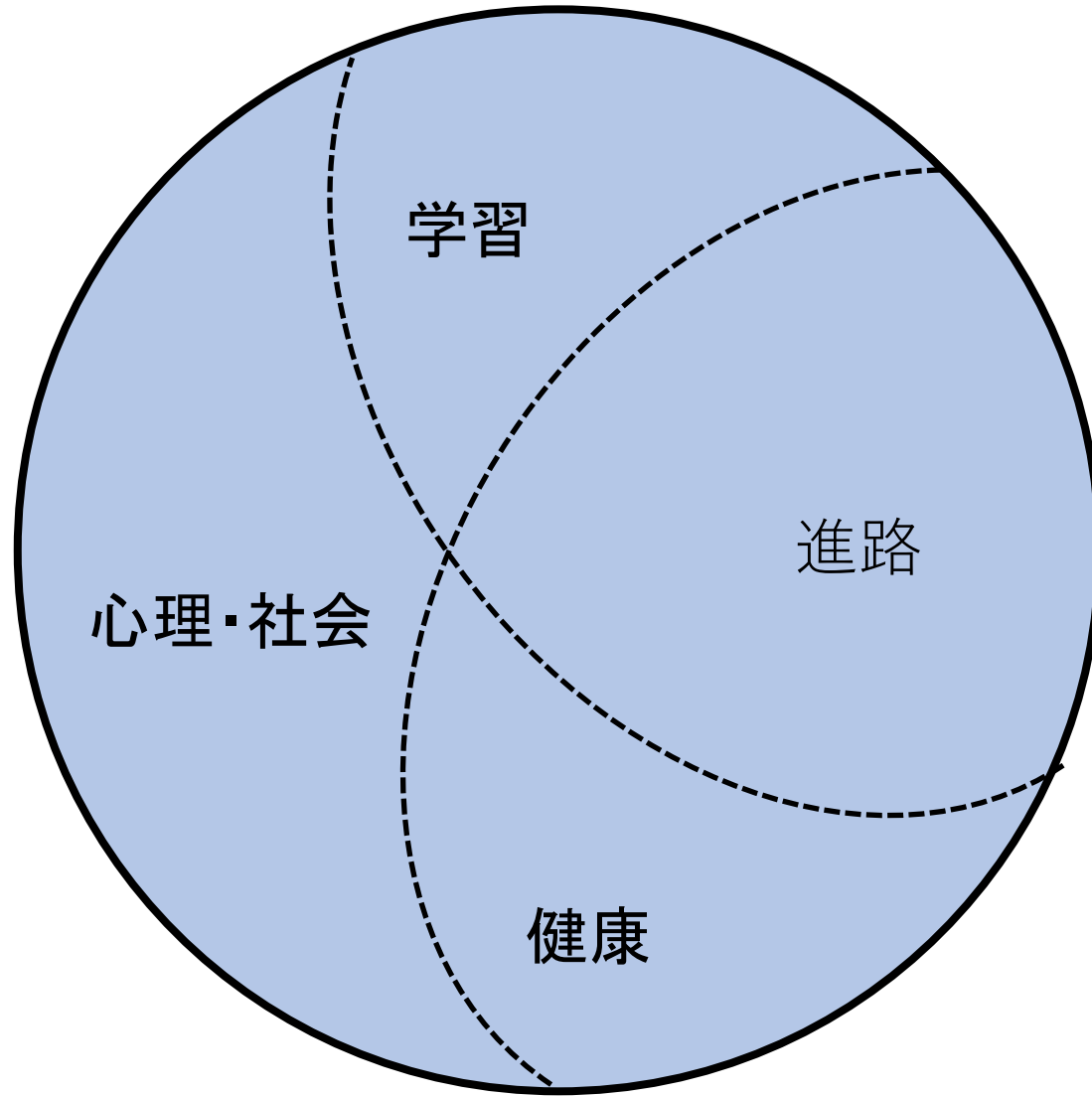


図 トータルな存在である子どもたちとその4つの側面

# 学校心理学を支える分野

- 心理学：教育心理学、発達心理学、コミュニティ心理学、臨床心理学
- 学校教育：教授と学習、生徒指導、教育相談、特別支援教育、学校保健、学校ソーシャルワーク
- 学校心理学：心理学の一分野  
学校教育の一分野  
学校教育と心理学の統合？

# 日本の学校心理学の歴史

## <1>Before 1990

学校カウンセリング、教育相談：

教育相談係、教育相談所の相談員、

児童相談所の相談員

Shinagawa, F., Kodama, M, & Manita, A.(1989) School psychology in Japan

# 日本の 学校心理学の歴史： 学校心理学の誕生

## <2>1990～2010

- 1990 日本教育心理学会における「学校心理」実行委員会  
「教育心理学の不毛性」への対策として学校心理学の導入

- 1995 スクールカウンセラーの導入（不登校、いじめ対策）

← 臨床心理士資格の認定

- 1996 日本教育心理学会における「学校心理学とスクールカウンセリング」のシンポジウムで、アメリカの学校心理学が紹介される。

# 日本の学校心理学の歴史： 学校心理学の誕生

<2>1990～2010

- 1997 日本教育心理学会による「学校心理士」の認定開始
- 1999日本学校心理学研究会(のちに学校心理学会)発足
- 2001 「学校心理学研究」 発刊
- 2009 「学校心理士会年俸」 発刊

Ishikuma, T., Shinohara, Y, & Nakao, T. (2006) School psychology in Japan.



# 日本の学校心理士

- 現在は学校心理士認定運営機構で認定
- 4,000 in 2018
- 受験資格
  - a, 修士課程で2年所定の学校科目+1年の実務経験
  - b, 教師として5年の心理教育的援助サービスの経験
  - c, カウンセラー等で2年から3年の経験

# 日本の学校心理学の歴史： 学校心理学の発展

<2010-Now>

- 2011 東日本大震災

  - JASP 子ども学校支援チーム

    - 臨床心理士会や政府との連携

- 2015 公認心理師法成立

# 公認心理師の行為

- ① 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析する（例：アセスメント）
- ② 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う（例：カウンセリング）
- ③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う（例：コンサルテーション）
- ④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行う（例：予防開発的心理教育）

# 学校心理学の実践

## *Who is helped?*

- ❖ All students: すべての子ども
- ❖ Teachers, parents, other professionals: 教師、保護者、ほかの専門家
- ❖ School system: 学校システム

# *What is the focus of the services?*

## **援助の焦点**

(a) children as individuals

e.g. school life and mental problems

(b) environments

e.g. culture & function of classroom & school

(c) interrelation of children & environment

e.g. matching learning and teaching styles & child's behavioral style and expected behavior

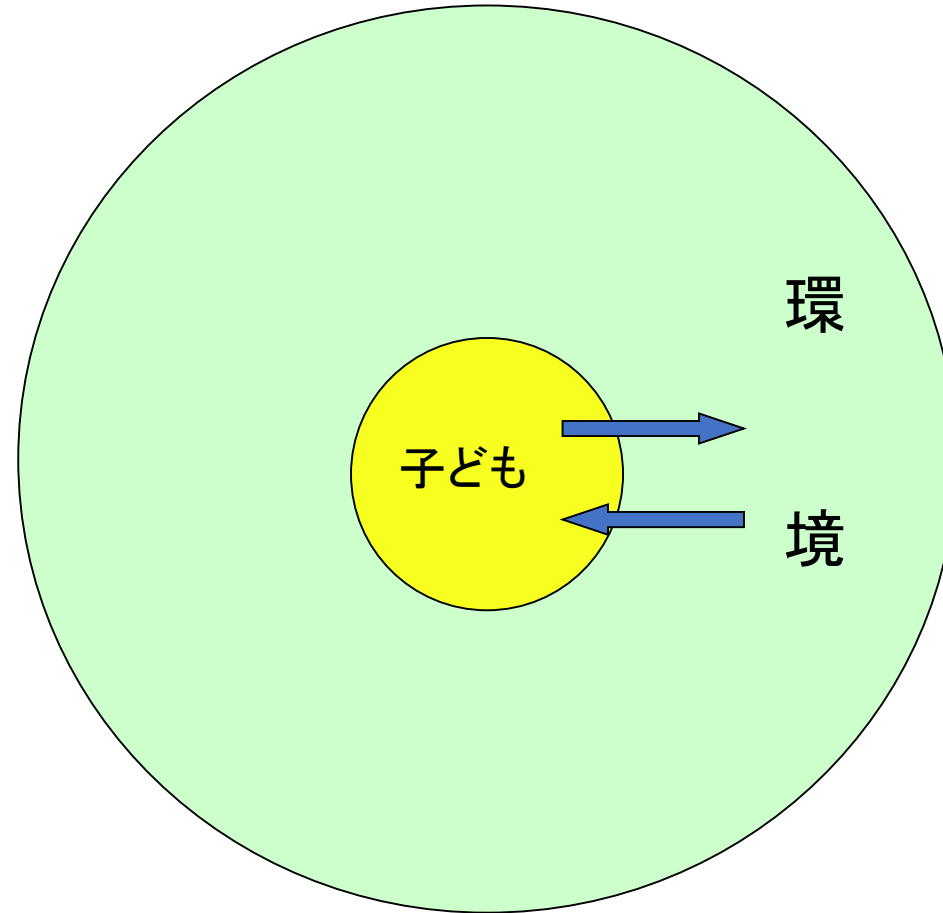
Keyword: 個としての子ども, 環境, 子どもと環境の折り合い

# 援助サービスの焦点

子ども

子どもと  
環境の  
相互作用

環境



## ヘルパー？

- 教師、養護教諭、スクールカウンセラー、保護者のチーム
- 学級担任
  - Deal with almost everything that happens to students.
- 教職教育：教育相談、生徒指導、キャリア教育；教育心理学、発達心理学など
- 教員免許状更新講習 10年ごと
- 教師の地位の変化

## 教育相談等の役割をもつ教師、そして 心理教育的援助サービスに関連する教師

- 教育相談、生徒指導、キャリア教育担当教師
- 特別支援教育担当教師
- 養護教諭



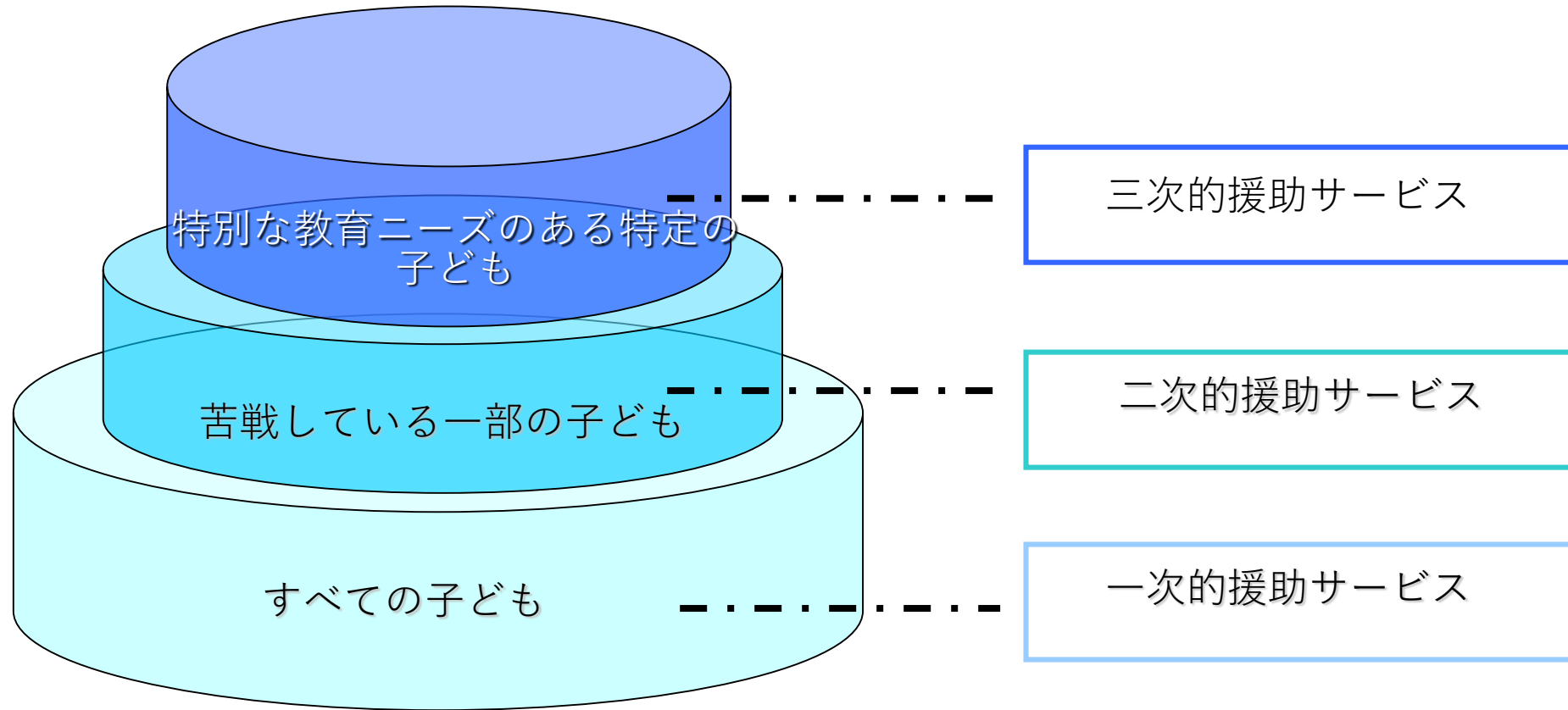
## *School counselors*

- Part-time SCs (e.g. 4 to 8 hours in a week): counseling, consultation, and assessment
  - Most SCs hold certification as clinical psychologists, issued by the Foundation of the Japanese Certification Board for Clinical Psychologist; some hold certification as school psychologist.
- School counselors' services vary from psychoeducational to therapeutic.

Clinical Psychologist, School Psychologist are “certification”, NOT the occupation.

Keyword: SCの導入, SCの背景, 臨床心理士

# どう援助するか:3段階の援助サービス



# 子どものニーズに応える援助サービス モデル (参照： RTI)

- **一次的援助サービス**:すべての子どもの共通あるいは基本的なニーズにこたえる。

授業のユニバーサルデザイン、安全で支持的な環境

レジリエンス教育、キャリア発達

- **二次的援助サービス**：学習の遅れ、人間関係の苦戦、転校生などの付加的なニーズにこたえる 教育的配慮
- **三次的援助サービス**, a不登校、いじめ、発達障害などに関連する特別な援助ニーズにこたえる 合理的配慮

# 子どものニーズに応える援助サービスモデル

- 一次的援助サービスは、二次的援助サービス、三次的援助サービスの基盤になる。 積み重ね
- 二次的援助サービスの、三次的援助サービスで効果的な方法は、一次的援助サービスに取り入れる。 循環的  
例 授業のユニバーサルデザイン

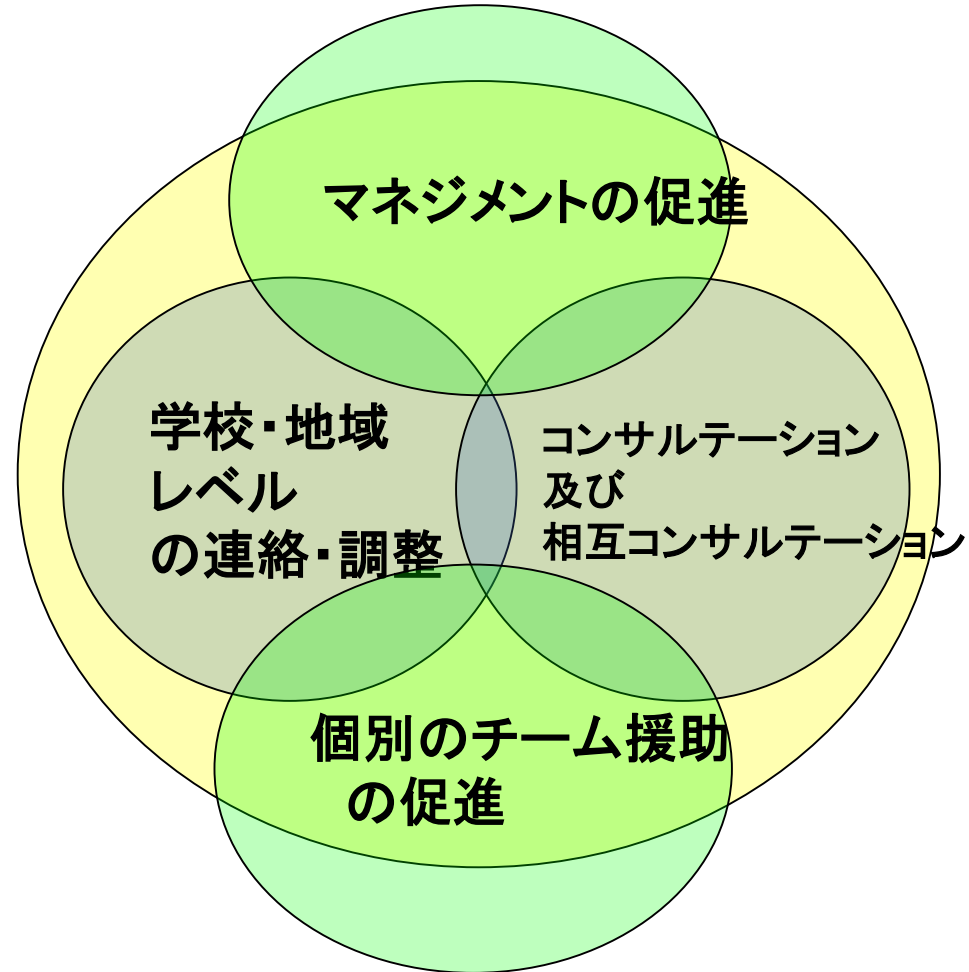
# 3層の援助チーム：チーム学校として

学校経営を支える「マネジメント委員会」

学校レベルの「コーディネーション委員会」

「個別の援助チーム」

コーディネーション委員会の4つの機能  
(家近・石隈, 2003)

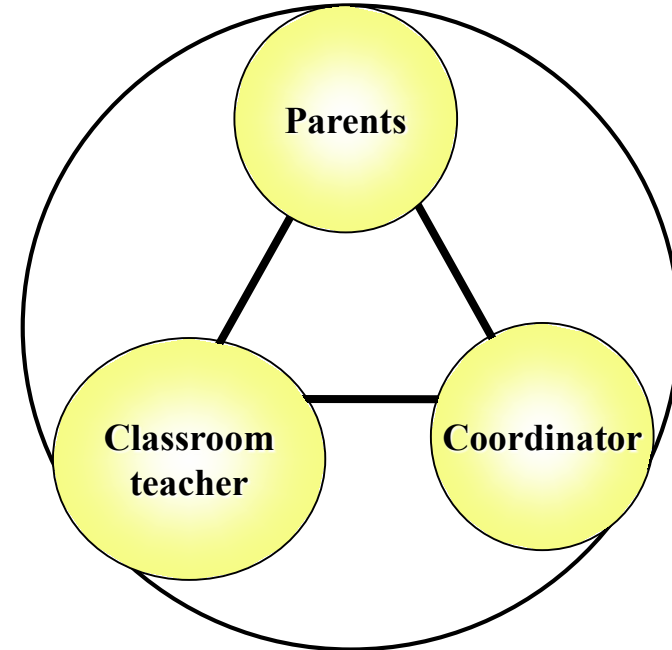


# *Research Results*

## コア援助チーム

- 田村・石隈(2003)

保護者も援助者



Core student support team

Keyword : チーム援助

# 日本型援助チームをどう活かすか

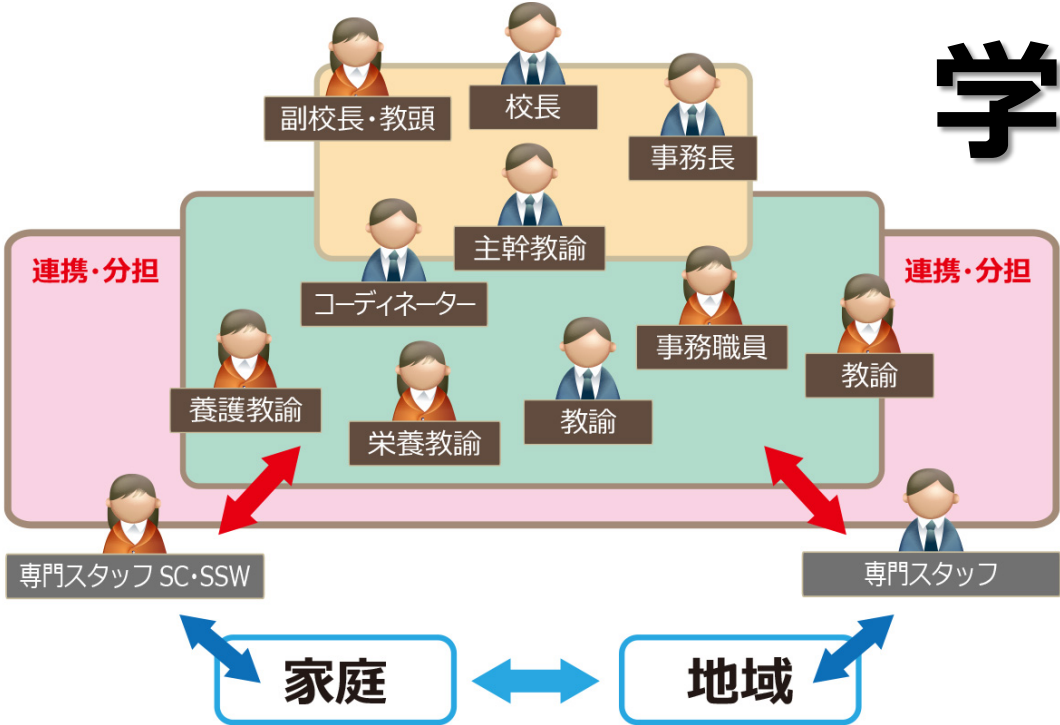
- アメリカ型援助チーム (baseball 型)  
ピース (専門性) を組み合わせるチーム
- 日本型援助チーム (サッカー型)  
濃淡のある「一枚の絵」 (子どもの全体像) を重ねるチーム  
(大野, 1997)



# 教育分野

重要な行政の動向

# 学校



**第一ステップ 教職員の指導体制の充実**

# 日本の学校教育と学校心理学：強みと弱み

- 強み:心理教育的援助サービスにおける教師のリーダーシップ  
教師、スクールカウンセラー、保護者のチーム
- 弱み:教師の援助サービスにおける質・量のばらつき
- チャレンジ: 学校心理学（心理教育的援助サービス）のリーダー、  
コーディネーターの必要性  
あたらしい日本型のチームの創造  
教育分野につよい公認心理師の養成

# 日本の学校心理学から世界へのヒント

- 教師の力の効果的な活用
- 学校教育と心理学の統合で学校心理学：新しい分野の創造
- 教師は必要。ほかに必要な職業は何か・・・この問いについて考える

# References

- Shinagawa, F., Kodama, M., & Manita, A. (1989) School psychology in Japan. In P.A. Saigh & T. Oakland (Eds.), *International Perspectives on Psychology In Schools*. Hillsdale, NJ: Lawrence Erlbaum Associates, 183-189
- Ishikuma, T., Shinohara, Y., & Nakao, T. (2006) School psychology in Japan. In S. Jimerson, T. Oakland., & F. Peter (Eds.) *Handbook of International School Psychology*. ), Thousand Oak, CA: Sage Publishing. 217-227
- Ishikuma, T. (2009) Dr. Alan Kaufman's contribution to Japan: K-ABC, intelligent testing, and school psychology. In J. Kaufman (eds.) *Integrating psychological theory and clinical practice*. New York: Cambridge University Press. 183-190
- Ishikuma, T., Matsuda, O., Fujita, K., & Ueno, K. (2016) Intellectual assessment of children and youth in Japan: Past, present, and future. *International Journal of School & Educational Psychology*, 4(4), 241-246. (DOI: 10.1080/21683603.2016.1163711)